

第20回山梨大学教職大学院 教育実践フォーラム

教職大学院生 研究発表

令和2年2月15日(土) 山梨大学(甲府西キャンパス)総合研究棟 (Y号館1階, 3階)

| ＜発表者の所属コース及び分野＞ | |
|------------------|---|
| M1 | |
| 教育実践開発コース | |
| ・学校マネジメント分野…………… |  |
| ・教師力育成分野…………… |  |
| 教科領域実践開発コース | |
| ・初等教科教育分野…………… |  |
| ・中等教科教育分野…………… |  |
| M2 | |
| ・学校改善分野…………… |  |
| ・授業改善分野…………… |  |

12:00～15:00

進学相談をY-13 教室

で行います。

| 開始時刻 | 会場Y-11 |
|---------------------|---|
| 9:15 — 9:45 | 鈴木 萌夏 多角的な見方を育てるための国語科の授業実践とは —グループ活動を通して— |
| 9:45 — 10:15 | 坂井 明洋 小学校における国語辞典を活用した授業研究 — 「慣用句」の実践を通して— |
| 10:15 — 10:45 | 島田 絢子(*小) 本を手取る、本を通して語り合う子をめざして —「にじいろ読書会」を通して、これまでの読みの学習 を問い直す— |
| 10:45—11:00 | 休憩 |
| 11:00 — 11:30 | 齊藤 貴之(*中) 生徒が主体的に取り組む英語科授業改善の方策 — 授業分析と小中連携の視点を通して— |
| 11:30 — 12:00 | 田形 麻巳子 小学校外国語・外国語活動における語彙の意味理解 と指導の工夫について —TPR、文脈提示、絵カード を中心とした実践を通して— |
| 12:00—13:15 | 昼休み |
| 13:15 — 13:45 | 芦澤 龍(*高) 振り返りを活用した高校数学の授業実践 |
| 13:45 — 14:15 | 青柳 広太郎 高校数学のよさを感じることのできる教材の開発 |
| 14:15 — 14:45 | 保坂 直行(*小) 小学校音楽科における主体的に鑑賞する児童の育 成 —「知覚」から「感受」へ— |
| 14:45—15:00 | 休憩 |
| 15:00 — 15:30 | 久保田 雄太(*小) 価値主導型を改善する道徳教育内容の開発と実践 —1年間の生活費の計算は児童を感謝に導きうるか — |
| 15:30 — 16:00 | 廣瀬 尚子(*小) 『「考え、議論する道徳」の趣旨を生かした効果的な 発問とは』 —ねらいを明確にし、児童に考えさせる効 果的な発問の工夫— |

※*印の発表者は現職教員の院生です。小・中・高・特は校種を表しています。

※自由に会場(教室)を移動して、関心のある発表をご覧ください。

※12:00～15:00、進学相談をY-13 教室で行います。懇談室としてY-14 教室を開放しています。

第20回山梨大学教職大学院 教育実践フォーラム

教職大学院生 研究発表

令和2年2月15日(土) 山梨大学(甲府西キャンパス)総合研究棟(Y号館1階,3階)

| 開始時刻 | 会場Y-12 | 会場Y-15 |
|---------------------|--|--|
| 9:15 — 9:45 | 森實 高毅 数学的な見方・考え方を育てる授業実践 —中学校 2年1次関数に着目して— | 井上 芽衣 「わかる」ことが体育の技能向上に与える影響 —ボール 運動の授業実践を通して— |
| 9:45 — 10:15 | 鈴木 裕大 数学的見方考え方を育てる思考プロセスの具体化に 関する研究 —教師による板書と生徒によるノート記 述・発言に注目して— | 大久保 樹 中学校保健体育科の指導における「できた」がわかる授 業作り —器械体操「跳び箱運動」を通して— |
| 10:15 — 10:45 | 中井 敬吾 日常の場面で関数を活用する授業実践 —テクノロジ ーを用いて— | 近藤 慶一 技能向上と学習意欲の関係性について |
| 10:45—11:00 休憩 | | |
| 11:00 — 11:30 | 瀧澤 由枝(*特) 山梨県特別支援学校(肢体不自由)における個別の 指導計画に関する課題とその改善における—考察 —先進校の個別の指導計画に学ぶ— | 保坂 由紀子(*小) 全ての子どもが自ら言葉を獲得し、考えに生かす姿を求 めて —言葉のつまずきの集積・分析から手立ての構築 — |
| 11:30 — 12:00 | 野田 直子(*高) 高等学校における発達障害のある生徒に対する支援 —授業のユニバーサルデザイン化による生徒が学び の実感を得られる授業づくり— | 猪股 楓 中学校国語科における文学的文章の授業研究 —〈語り手〉に着目した授業実践に向けて— |
| 12:00—13:15 昼休み | | |
| 13:15 — 13:45 | 跡部 詩織 児童の学びに役立つ「学習成果物」のあり方 —板書 と掲示物の集積をもとに— | 石川 果歩 中学校社会科歴史的分野における思考力育成を促すた めの単元のまとめとしての授業の在り方 —授業観察に基 づく理論と実践の接続— |
| 13:45 — 14:15 | 石井 輝彦(*小) 主体的・対話的な学びの基盤となる「読みの視点」の 構造化 —初等国語科「読むこと」で児童が学びの実 感を積み重ねるために— | 鷹野 公俊 中学校数学における生徒の方程式の理解に関する研究 —等式変形を行うことの困難性に焦点を当てて— |
| 14:15 — 14:45 | 保坂 友理 説明的文章の読解に必要な力とその評価に対する— 考察 —小学校高学年における授業と単元準拠版リ ーディングスキルテストの実施を通して— | 望月 宏紀(*高) 高等学校数学科における複眼的に思考する力を育む授 業実践とその分析 —数学A「場合の数」最短経路問題から— |
| 14:45—15:00 休憩 | | |
| 15:00 — 15:30 | 森 陸史(*高) 新「文学国語」において多面的・多角的思考力を育む 「読むこと」の指導 —ダイス法を用いた『舞姫』の読みから— | 加藤 諒(*中) 中学生の数学を学ぶ目的に着目した授業改善 —主体 的な学びを目指して— |
| 15:30 — 16:00 | | 小松 琢朗(*中) 数学的なプロセスの育成を重視した授業づくりの探求 — 数学的に説明することに焦点を当てて— |

※*印の発表者は現職教員の院生です。小・中・高・特は校種を表しています。

※自由に会場(教室)を移動して、関心のある発表をご覧ください。

※12:00~15:00、進学相談をY-13教室で行います。懇談室としてY-14教室を開放しています。

第20回山梨大学教職大学院 教育実践フォーラム

教職大学院生 研究発表

令和2年2月15日(土) 山梨大学(甲府西キャンパス)総合研究棟 (Y号館1階, 3階)

| 開始時刻 | 会場Y-32 | 会場Y-33 |
|---------------------|--|--|
| 9:15 — 9:45 | 内川 大輔(*特) 小学校生活科における知識獲得・活用を図る授業内容の開発と実践 —「花と実」の写真教材の収集・選択と発問化— | 西尾 郁哉 化学実験がもたらす内容理解と、化学実験を活かした授業構成 |
| 9:45 — 10:15 | 村松 賢志(*小) モジュール学習の導入と可能性 —PDCA サイクルの検証を通して— | 武居 菜生 理科での協働的な学習が概念形成にもたらす効果について |
| 10:15 — 10:45 | 鶴田 博(*高) 「総合」から「探究」への転換に伴うカリキュラム・マネジメントに関する研究 | 中西 大生 科学概念構築過程における比喩的表現の役割に関する研究 |
| 10:45—11:00 休憩 | | |
| 11:00 — 11:30 | 阿部 千春(*小) わかって楽しい算数科の授業づくり —児童が主体的に学ぶための「問い」の工夫から— | 宮澤 和孝(*中) 理科を学ぶ有用性を高める授業づくり —日常生活や社会との関連を中心とした中学校理科の授業デザイン— |
| 11:30 — 12:00 | 佐藤 治彰(*中) 考えさせる授業の創造 —作業を重視して— | 山形 雄大 公民科、現代社会における効果的な授業 —主体的・対話的で深い学びの視点から— |
| 12:00—13:15 昼休み | | |
| 13:15 — 13:45 | 今井 悠 小学校における消費者教育の授業検討 —身近な物の選び方に焦点を当てて— | 北川 圭吾(*小) 子どもが安心して活動できる学級づくり —体育科の授業における子ども同士のかかわりを通して— |
| 13:45 — 14:15 | 佐藤 貴史(*小) 子どもの認知的枠組みが成長する社会科授業デザイン | 佐野 隆一(*中) 中学校における自治的集団の育成を目指した学級づくり —クラス会議を主とした実践プランの提案— |
| 14:15 — 14:45 | 関戸 宏樹 社会をつくる生徒の育成をめざした中学校地理授業実践 | 伊藤 雅貴 自己肯定感の向上の促進 —学級通信と目標達成ノートの利用— |
| 14:45—15:00 休憩 | | |
| 15:00 — 15:30 | 亀岡 茜 保健体育科における理論と実践を融合させた授業づくり | 麻生 真緒 学習の困難さに関する家庭の文化的背景という観点からの考察 —中学校数学科における授業内の手立てに着目して— |
| 15:30 — 16:00 | 桂原 幸世 ICTを活用した中学校保健体育科の授業づくり —iPadを用いた柔道の授業実践を通して— | 矢野 仁恵 中学校社会科歴史的分野における多面的・多角的に考察する力の育成を目指した授業実践 |

※*印の発表者は現職教員の院生です。小・中・高・特は校種を表しています。

※自由に会場(教室)を移動して、関心のある発表をご覧ください。

※12:00~15:00、進学相談をY-13教室で行います。懇談室としてY-14教室を開放しています。